

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ココニー児童デイサービスみやぎ発達支援		
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月24日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1 活動内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・5領域が偏らないように立案、実行している。</li> <li>・全支援者で検討し決定、実行している。</li> </ul>	同法人内の児童発達事業所や放課後デイサービスを含め、他事業所の活動内容も参考にさらにプログラムの充実とプログラムが固定化しないように取り組む。
2 外出支援		公共の場でのマナーやルールを知り、大きな音や大勢の人がいる環境での過ごし方を習得する(音が苦手、人混みが苦手など苦手意識の軽減、緩和や自分が安心して過ごせる対応方法を知る)	地域イベントで地元のお友達や大人の人たちとの交流の機会や県内各地の公共施設(体験型施設も含む)で沖縄の伝統や文化にも触れ、社会性、人間関係、コミュニケーションなど5領域を意識した外出支援を継続したい。
3 ご家庭や関連機関との連携		利用日には送迎時や連絡ツールを活用し対応。利用日以外でもお電話や連絡ツール等でのお問い合わせ、ご相談に対応させて頂いています。必要に応じて、相談員にも連携し情報共有のための会議も実施しています。	これまで同様、常に丁寧、迅速、最後まで対応できるように、支援者側も常に学び、情報のアップデートも行い、関連機関との連携もしっかり取り組みます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 こども園や幼稚園との交流		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で交流自体ができない状況だった。コロナ過が明けたものの、まだまだ園側もデイも感染症対策の観点から実現できていない。</li> <li>・園、デイそれぞれ活動プログラムが設定されており、時間や場所の設定も容易ではない。</li> </ul>	少しずつ、行事見学や少人数短時間からの交流を検討したい。
2 地域交流		地域交流を検討するが、地域イベントが週末の夜や日曜などの開催が多く、タイミングが合わない。	図書館や児童館等の利用は実施できているので、日中開催のイベントなどへの参加を増やしていきたい。近隣の市町村での交流も検討。
3 訓練実施の周知(地震、火事、不審者)		訓練実施日のご利用児童ご家族への周知は連絡アプリや送迎時の口頭で行っているが、利用以外のご家庭へは伝わっていなかった。	全ご家庭への周知をするための方法。お知らせ配布や連絡アプリ等で通知を行う。